

九州地区の8年8月住宅着工戸数
前年同月比12.9%減の4,636戸、鹿児島県は14.7%増

国土交通省がまとめた令和8年8月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比12.9%減の4,636戸で、床面積は同10.3%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が24.5%減、佐賀県が6.3%増、長崎県が3.4%減、熊本県が3.9%減、大分県が8%減、宮崎県が1.2%減、鹿児島県が14.7%増となっている。

新設住宅着工戸数(令和8年8月、令和7年8月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(㎡)		
	令和8年8月	令和7年8月	前年対比(%)	令和8年8月	令和7年8月	前年対比(%)
福岡	2,141	2,837	75.5	173,772	217,495	79.9
佐賀	339	319	106.3	27,491	28,629	96.0
長崎	286	296	96.6	25,267	23,527	107.4
熊本	772	803	96.1	66,580	67,182	99.1
大分	310	337	92.0	25,801	30,689	84.1
宮崎	319	323	98.8	29,110	27,255	106.8
鹿児島	469	409	114.7	38,400	36,098	106.4
九州地区計	4,636	5,324	87.1	386,421	430,875	89.7
沖縄	945	816	115.8	75,594	57,883	130.6
山口	509	502	101.4	39,932	42,016	95.0
全国計	63,974	60,275	106.1	4,857,616	4,600,552	105.6